

取扱（取付）説明書

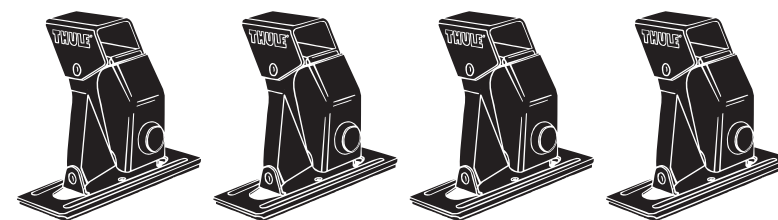
このたびは、スーリー社製品をお買い上げいただきましてありがとうございました。当製品を常に最高の状態でご使用いただくために、この取扱（取付）説明書をよくお読みいただき内容をご理解された上、正しくご使用ください。尚、この取扱（取付）説明書はご使用の都度確認いただき、必ず保管しておいてください。

ご注意とお願い

- この取扱〔取付〕説明書に示されている注意マークと警告マークは、取付、取扱に関する安全上の注意事項ですので、必ず厳守してください。
- この商品を改造しての取り外し取付は、絶対行わないでください。
- この取扱（取付）説明書に記載されていない取付および使用方法は絶対に行わないでください。
- 記載事項を守らなかった為に発生した不具合、つきましては、責任を負いかねる場合がありますのであらかじめご了承ください。

〔販売店様へのお願い〕

この取扱（取付）説明書は、必ずお客様にお渡しください。

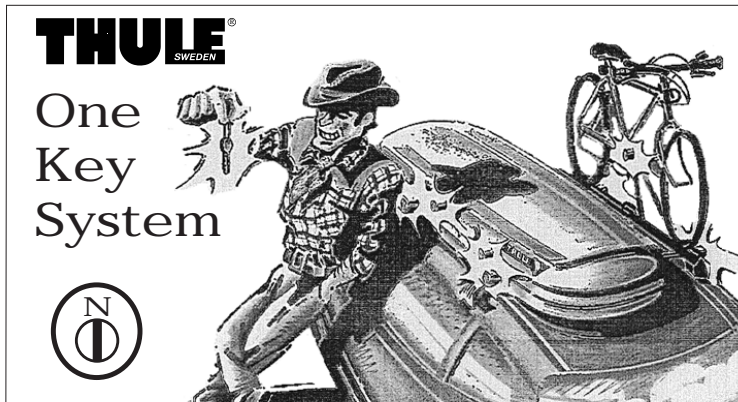
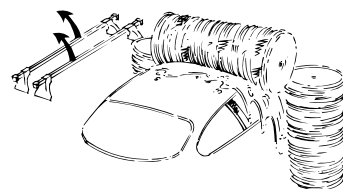


950
1071-1

FOOT PACK
THULE
SWEDEN

<手入れと保管の注意事項>

- スペアキーは安全で確実なところに保管してください。
- キャリア脱着時に必要な工具は車の工具と一緒に工具箱又は袋に収納してください。同時に取扱（取付）説明書は車のハンドブック・マニュアル・取扱説明書と一緒に大切に保管してください。
- 定期的にキャリアの部品やアタッチメント等が摩耗していないか又キズがついていないか等を確認して、摩耗していたり、キズがついていた時はすみやかに部品やアタッチメントを交換してください。問題がない場合は、常にきれいに洗浄してから保管してください。特に冬の汚れはきれいに拭き取ってから、ボルトやナット、ロックに給油等手入れを加えてから保管してください。
- 安全と経済性を考慮してキャリアを使用しないときは、キャリアを必ず外してください。
- キャリアを装着したまま自動洗濯機にかけるとキャリアが破損したり、車のルーフ・ドア等を破損しますので、自動洗濯機にかけないでください。
- 自動洗濯機にかける場合は、必ずキャリアを外してください。又キャリアを外さない場合は、手洗い洗濯をしてください。



ワンキーシステム

- ワンキーシステムとは、ロック機能付のスーリー（ロードキャリアだけではなく、スキーや自転車等のアタッチメントも含めて）製品のロックの開閉が同じキーで簡単にできるスーリー独自のシステムです。
- 別売の544(4個入)又は、588(8個入)を購入していただき、ロードキャリアとアタッチメントのキーを装着又は交換することで、同じ一つの鍵でロックの開閉ができるようになります。
- 装着方法及び交換方法は、544/588同梱の取扱（取付）説明書を参照してください。

544

588



THULE
SWEDEN

Box 69, 330 33 Hillerstorp, SWEDEN
www.thule.com

943・3DF2/501-604903

<キャリア装着上の注意>

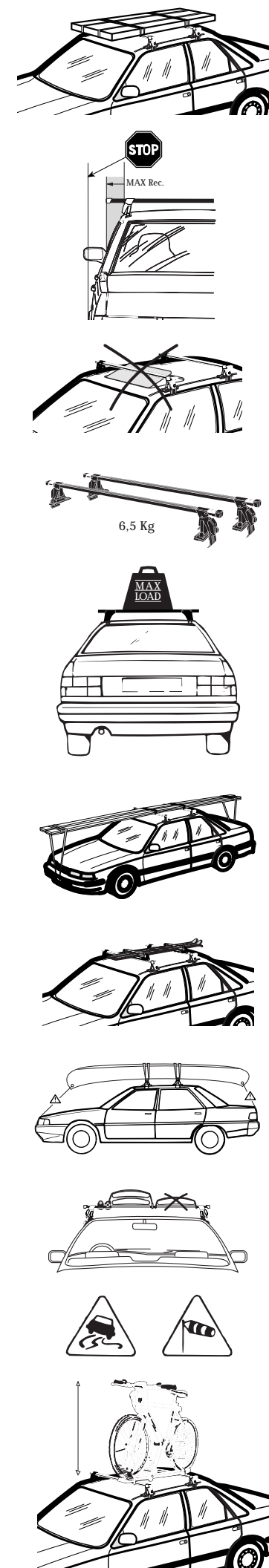
- 取扱（取付）説明書をよく読んでください。
- 車のルーフと取付ける部品をきれいに清掃し、ルーフにキズがつかないようにしてから、取付をしてください。
- キャリアの取付位置が車両メーカーで指定されている場合は、その指示にしたがってください。指示がない場合は、前後のバーの間隔を700mmに設定してください。サーフィン・ボードやルーフボックスなど長尺物を積載する場合、安全に積載して使用するために、前後のバー間隔を600mm以下の取付はしないで下さい。
- 車にキャリアを取付けてから、キャリアバーとフットを手でゆすり、当初の取付位置からはずれていないか、又ブラケットがルーフより外れないか必ず確認してください。もし緩んだり、外れたりした場合は再度確実に固定できるように締め付け作業を行ってください。
- 長時間・長距離の走行を行うときは定期的に各部の締め付けを点検してください。
- 車の前幅からキャリアバーが飛び出さないようにしてください。キャリアのフット部からボディの端までの1/2までが安全なキャリアバーの取付範囲です。必ず守ってください。
- アタッチメントや積載物が車のルーフに接触しないようにしてください。たとえスーリー製品が傷を付けないように設計されていても、車種にあったキャリアを正確に装着しないと車に傷を付いたり、破損したりします。他社のパーツを使ったり、勝手に加工・交換して装着することは大変危険ですので、絶対しないでください。
- 盗難防止ロック（鍵）付キャリアとアタッチメントは常時ロック（鍵）をかけてください。
- 車種によっては、キャリアとアタッチメントを装着するとサンルーフに接触し、開閉ができなくなる場合がありますので、キャリアとアタッチメントの装着時にサンルーフの開閉やチルトアップ等は行わないでください。又、スキー、サーフィン・ボードやルーフボックスの長尺物を取付けると、ハッチゲート、リアスポイラー等に接触する場合がありますので、ハッチゲートが完全に開かなくなります。どちらの場合も車のサンルーフ、ルーフ、ハッチゲート、リアスポイラー等の破損のトラブルには十分に注意してください。

<積載物固定上の注意>

- 取扱（取付）説明書に記載されている最大積載荷重を絶対越えないようにしてください。車両メーカーの指定している最大積載荷重と取扱（取付）説明書に記載されている最大積載荷重が異なる場合はあくまでも車両メーカーの指定している最大積載荷重を守ってください。
- 最大積載荷重＝キャリアの重量＋アタッチメントの重量＋積載物の重量
- 積載物をしっかり固定してからストラップなどで締め込んで、確実に固定していることを確認してください。固定する場合は、収縮するストラップは使用しないでください。
- ルーフボックスに荷物を積載する場合もボックスの中で積載物の重心がボックスの中心になるようにきちんと確実に固定してください。

<積載中の運転についての注意事項>

- 取付後には必ず試走の上、積載物に緩みが生じていないことを確認してください。又積載中は定期的な緩みがないかどうか確認して、もし緩みがあった場合には確実に締め込んでください。
- 車の屋根からはみ出さずに、積載物の重心をなるべく低くし、キャリア全体に均等に荷重がかかるように積載してください。
- 車の全長を越える積載物は道路交通規制の法律に決められた対策を施してから走行してください。
- サーフィン・ボードやフィンボード、マストまたはヨット、カヤック等の長尺物を積載する場合は、それらの前後を車の前後にベルト等で確実に積載してください。
- サーフィン・ボードやウインド・ボード等を数枚積載するときは重ねて積載してください。
- スキー板を積載するときは、スキー板のトップを車の後方に向けて積載してください。
- 荷物を積載して運転する時は、道路条件、風、交通量、走行速度やその他の状況を把握して、積載物にあった速度で走行してください。又、悪天候（強風時、雨天時、降雪時等）時では、走行中にブレーキをかけた場合、車が通常と違った動きをしますので、運転には十分に注意してください。
- 自転車等の高さがあるものを積載するときは、前期の注意事項に加えて、積載物の高さにも十分に注意して運転してください。
- キャリア装着時は、急ハンドル、急加速、急ブレーキ等の運転は積載物の落下や自損事故につながる場合がありますので安全に走行してください。
- キャリア装着時にトンネル、立体駐車場等の高さ制限のある場所を走行する場合、積載物の高さを考慮して全高が制限内であることを確認してください。
- キャリア装着時は、ルーフアンテナがキャリア、積載物に当たらない事を確認してください。走行中ルーフアンテナがキャリア及び積載物に当たり異音が発生する場合がありますので注意してください。



構成部品

- フット x4
- ワッシャー x4
- フットカバー x4
- プラスチックプラグ x4
- テンションボルト x4
- メモリーシール x1
- パーエンドキャップ x4
- スケール x1

(別売)

- キャリアバー x2
- ラバーパット (KIT) x4
- ブラケット x4
- ラバーパット x4

1

●作業しやすいように、各ドアを開けてください。クランプKIT取付説明書の取付け位置を参考に、ルーフやドアの、取付け予定位置をきれいにします。

2

●KITに付属されているラバーパットの凸部とフットの凹部を合わせ、図1を参照しルーフの4箇所にフットとラバーパットを取付けます。このラバーパットはフロント用とリア用で品番が異なる場合があります。必ずKIT取付説明書で品番を確認して下さい。

●アングルピースはクランプを性格な角度で取付ける為に必要な部品です。クランプKIT取付説明書にこのアングルピースの使用が明記されていた場合には必ず使用して下さい。尚、使用しない車種もありますので、別売でお求め頂いたクランプKIT取付説明書を参考にして確実に取付けて下さい。

●サポートブロックはフットに取付けたラバーパットを正確な角度で車の屋根に取付ける場合に必ず必要な部品です。クランプKIT取付説明書に、このサポートブロックの使用が明記されていた場合は必ずご使用下さい。尚、使用しない車種もありますので、別売でお求め頂いたクランプKIT取付説明書を参考にして確実に取付けて下さい。

3

●フットのテンショナー(A)のロックを外し図3の矢印方向にテンショナー(A)を持ち上げてから、キャリアバーとフットを組み立てます。

4

●クランプKIT取付説明書に表示されている左右フット間隔寸法を参考にしてフットをキャリアバーの両端から均等な位置にセットしフットのテンショナー(A)を手でロックしてから固定します。

●この左右フット間隔寸法はフロントとリアで異なる場合があります。必ずクランプKIT取付説明書で確認してください。

●この左右フット間隔寸法の表示がない場合はクランプKIT取付説明書の車両図を参考にフットの位置を現車に合わせて決めてください。

●取り付け寸法は説明書をご覧ください。キャリアバーの下面に印字されている目盛りは当キットには使用しません。

5

●車のドアを開けてキャリアを屋根に載せてください。クランプKIT取付説明書には、車のどの位置にフットを装着するべきであるか、またキャリアバー前後間隔の距離が記載されていますので必ず確かめてください。

●記載されていない場合には、キャリアバーの前後間隔を最低700mmに設定してください。又車幅からキャリアバーがはみ出さないように注意してください。もしはみ出した場合には一番広くてもフットと車の端までの距離の半分までにしてください。

Min 700 mm

6

●キャリアバーの両端にパーエンドキャップを取り付けてください。(取り付け作業中に誤ってキャリアバーからフットが脱落した時に、車両を傷つける事から守ります。)

●プラスチックワッシャーとテンションボルトでブラケットを取り付けて下さい。この時に前後のブラケット番号をクランプKIT取付説明書で再度確認して下さい。

●ボルト取り付け角度が正しい位置になるようにトレッドハウジング(B)が上下に調節できますのでブラケットの取り付け角度に合わせてテンションボルトを締め込まないとトレッドハウジング(B)のネジ部分を破壊する事があります。注意してください。又その時にテンションボルトの締め込みが固いような場合は、絶対に締め込まないで下さい。

7

●テンションボルトを締め込む時はフットカバーにプラスチックプラグを取り付けてからテンションボルトを取り付けると簡単に締め込めます。

●テンショナー(A)がしっかり固定するまでブラケットの下部を押さえながら左右交互に同じ力で締め込んで下さい。十分締め込まれているとテンショナー(A)がフットにほぼする状態になります。

●テンショナー(A)とフットの間クリアランスが多いとテンションボルトが十分に締め込まれないことがありますのでご注意ください。

●尚テンションボルトを締め込む時の力(トルク)は5Nmです。それ以上の力が加わると車のルーフが変形する場合がありますので注意して下さい。

8

●テンションボルトを下ろしてから再度フットカバーをブラケットに取り付けて下さい。以上で取付は完了です。

●最後にキャリア本体を上下左右に揺すってみて、がたつき、ゆるみ等がない事ブラケットが車のルーフ、レインガーターなどからはずれないようにしっかりと固定されている事を確認して下さい。

●その時キャリア本体又はブラケットが動く様であれば、取り付け方法、パーツNo.、締め付け状態等をこの説明書とクランプKIT取付説明書を再度確認し、安全を確認してから走行して下さい。